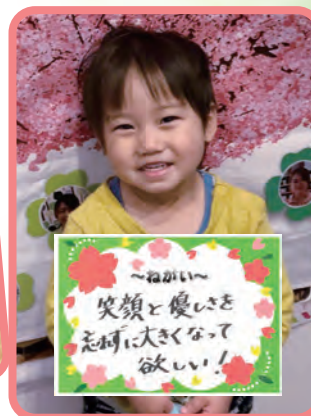


こんにちは

うみ議会です



子どもを産み育てる町で 夢いだけ 次の100年



見つめようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年に町制施行100周年

Koe Meter
声メーター 34.5
実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

ごんこ

声を聞く！消防団新三役 ……	②
防災センターで災害体験 ……	③
議会広報で振り返る20年 ……	④
3月定例議会 ……	⑥
主な予算の使い道 ……	⑧
各委員会活動 ……	⑬



2020.5.15
No. 77
うみ議会だより
3月定例会



新入団員を増やすには

宇美町消防団新三役にインタビュー

積極的な情報発信でもっと身近な存在に



左から松永豊副団長・音成芳晴団長・末継典秀副団長

新入団員確保に向けて

松永副団長 新入団員の確保には地域の皆様の協力が不可欠。広報活動に加え、各分団の垣根を超えた団員勧誘にも積極的に取り組みたい。

音成団長 宇美町消防団の活動を若い人たちを含め多くの住民に知っていただくことが大切。

フェイスブックやインスタグラム、ティックトック等のSNSを活用して、訓練の様子や活動状況を積極的に情報発信していきたい。

末継副団長 まずは団員に宇美町の現状を伝え、勧誘の強化や地域でのイベントにも積極的に出向きたい。そして、防災訓練等のイベントで小中学生と積極的に交流し未来の消防団員を育てたい。



4月5日（日）に開催された消防団の交替式は、新型コロナウイルス感染症に係る対応により、新団長含む三役と分団長のみの出席で執り行われました。

議会広報を通じて町民の皆さんに、新団長、新副団長の抱負や心意気などをお知らせします。

新体制での抱負

音成団長 現在、宇美町消防団は10分団計152名の団員で活動しており、松永・末継両副団長と協力し、宇美町役場や小学校区コミュニティと連携を密にして宇美町全体で一枚岩となって活動できる消防団を作っていく。

松永副団長 新体制になってからも引き続き火災対応はもとより、水害や土砂災害、行方不明者の捜索等の多岐にわたる現場対応に精一杯努めていきたい。

また、更なる地域防災体制強化のために、団員の確保と地域とのつながりを深めていきたい。

末継副団長 交替式で音成団長から副団長の辞令をいただき、身が引き締まる思いがした。

団長を支え三役のやるべきことを務めていきたい。



原田小学校区コミュニティ防災訓練に参加した小中学生は、土嚢（どのう）づくり体験を行った。



消火栓や防火水槽の位置がすぐわかるように蛍光塗料で着色。休日返上で活動する消防団員

これからの消防団

末継副団長 これからも火災や災害の訓練をしっかりと行い、迅速に対応ができる組織にしていきたい。

音成団長 宇美町役場や地域の皆様、そして歴代先輩の方々とのコミュニケーションを大切にし、宇美町の現状に即した消防団にしていきたい。

松永副団長 伝統と歴史ある宇美町消防団なので、諸先輩から受け継いだものを大切にしたい。



先輩方から受け継いだ伝統技術（はしご乗り）



特集 1

特集 2

3月定例会

委員会

各委員会活動

その他の活動



大雨の時期を前に!

粕屋南部消防本部防災センターで

防災体験してみませんか

AEDを使った救急蘇生法講習会



防災シアターでは消防署職員が講師となりAEDとダミーを使った救急蘇生法講習会を受講することができます。

約3時間の講習は一度に30人程が受講でき、受講者には修了証が交付されます。

AED(自動体外式除細動器)とは

電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器で音声ガイドに従って操作を行えばどなたでも使用できます。



これから梅雨前線による大雨の時期がやってきます。地球温暖化の影響などで、2017年7月に発生した九州北部豪雨災害をはじめ、近年の雨の降り方はこれまでの常識を覆すような大雨となる場合があります。また、常日頃から地震や台風、火災等の災害を想定し、備えておくことが大切です。

そこで、議会広報常任委員会では、粕屋南部消防本部に設置してある防災センターを取材し、地震や台風・洪水などの災害体験、火災や救急等の通報体験、そして消火体験を行いました。



(志免町大字田富170番地)

粕屋南部消防本部は糟屋中南部の6町で運営されており、宇美町からは消防組合分担金として約4億円が支払われています。

防災センターには社会科見学などで年間約4,700人が訪れ、また、防災シアターで行われているAEDを使った救急蘇生法の講習会等で年間5,383人が受講されています。



はしご車の試乗体験



風速30メートルを体感できる風体験



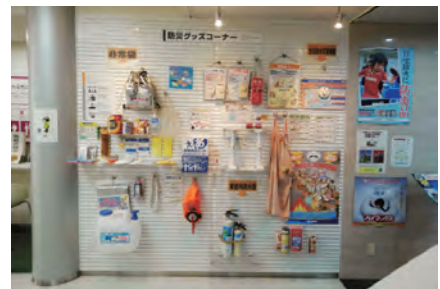
暗闇の中での煙体験



火災時・救急時の通報体験



消火器を使う消火体験



防災グッズ展示コーナー

特集 1

特集 2

3月定例会

委員会

各委員会活動

その他の活動

平成13年5月に創刊号が発行された議会広報も今号で77号となり20年目を迎えました。

これまでの議会だよりの紙面から宇美町の20年を振り返る特集を組みました。

この間、宇美町議会では「開かれた議会」をめざして、平成25年に宇美町議会基本条例を制定し、さまざまな改革に取り組んでまいりました。また、議員自らの手で発行している「うみ議会だよりの」も、議会を身近に感じていただくために、より分かりやすく親しみある紙面づくりを心がけてきました。

今後とも幅広い世代の方々にご覧いただけるよう努力してまいりますので、これからも、よろしくお願い申し上げます。



2007 第27号

平成19年9月にオープンした町立図書館（うみ・みらい館）オープン初日で賑わっている様子が表紙になっています。町立図書館は当初町の単独費で建設予定でしたが、議員から国庫補助活用の提案があり、周辺整備も含めたまちづくり交付金等約4億円の活用につながりました。



2014 第52号

議会広報特別委員会から議会広報常任委員会に変更しました。

「議会だよりは議会の翼、翼を持たない議会は21世紀を飛翔しない」は、発行当初の議会だよりのキャッチコピーです。現在もこの想いを大切に議会広報の編集に取り組んでいます。（創刊号から）



2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2009 第34号

7月に梅雨前線による大雨（通称21年災）が宇美町を襲いました。総雨量は15年災の倍以上でしたが、宇美川上流の改修が完了していたため、最低限の被害に抑えることができました。

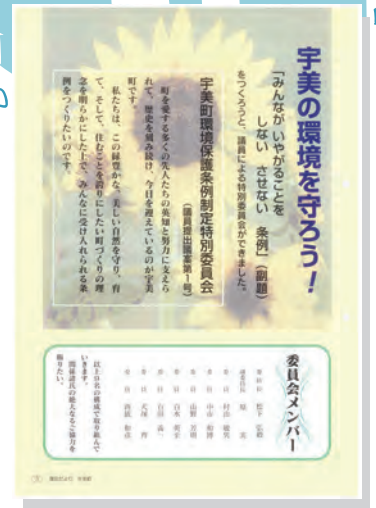


2018 第69号

現体制になって初めて発行した議会だよりは、題字も「こんにちはうみ議会です」にリニューアルし、「まずは手に取って読んでいただける議会だよりの」をめざして編集に取り組んでいます。町制施行100周年記念特集のインタビューも好評で、平成30年度第33回町村議会広報全国コンクールで、初めて奨励賞（編集・デザイン部門）を受賞しました。



町制施行100周年記念特集 議会広報で振り返る宇美町の20年



特集 1

特集 2

3月定例会

委員会

各委員会活動

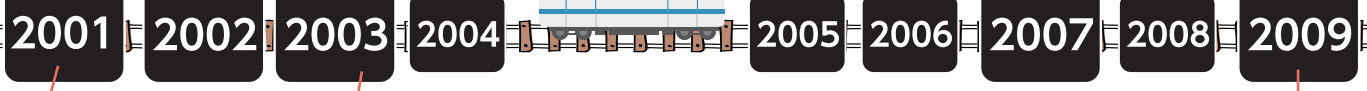
その他の活動

2002 第6号

宇美の環境を守ろう！を合言葉に議員発議により「宇美町環境保護条例制定特別委員会」が設置されました。その後、平成15年4月に「宇美町環境基本条例」が制定され、平成18年9月には「安全なまちづくり条例」「飼い犬等ふん害防止条例」「空き地等の環境保全条例」の三つの条例制定につながりました。

2001 創刊号発刊

新しく変わる宇美駅前広場として駅前広場整備事業の予算がクローズアップされています。



2001 第2号

旧勝田線跡地に宇美町が誇る日本一の緑道公園が完成したことを受けて、4つのポケットパークの愛称が募集されています。

2003 第10号

7月に宇美町を襲った梅雨前線による大雨（通称15年災）により大きな被害が発生しました。議会としても国や県に対し被災者への支援と迅速な復旧について要望活動を行っています。



未来に向けて、子どもたちが夢をいだける当初予算

3月
定例会

特集1

特集2

3月定例会

委員会

各委員会活動

その他の活動

令和2年度一般会計予算を可決

総額119億5,863万円

(賛成11:反対1で可決)

3月定例会は、3日から19日まで17日間の会期で開かれました。町長から提出された案件は、財産の取得案1件、財産の無償譲渡案1件、工事請負契約変更案1件、和解案1件、条例案11件、予算案11件、すべてを原案のとおり可決しました。

また、議員発議2件を可決しました。

※一般質問は、新型コロナウイルス感染拡大防止とその対策に追われる町の業務負担を軽減するため、議会運営委員会において、協議を重ねた結果、中止しました。

一般会計
予算

前年度比
2.6%
増

一般会計予算		(単位：万円未満四捨五入)	前年度比
自主財源 42.8%	町 税	36億4,797万円	1.0%
	そ の 他	14億6,741万円	45.5%
	合 計	51億1,538万円	10.7%
依存財源 57.2%	地方交付税	26億1,099万円	3.8%
	国県支出金	27億5,924万円	▲3.6%
	町 債	6億2,020万円	▲26.3%
	そ の 他	8億5,282万円	4.9%
	合 計	68億4,325万円	▲2.7%
歳入合計		119億5,863万円	2.6%

令和2年度予算の特徴

(単位：万円未満四捨五入)

- ① 前年度当初予算比約2.6%増
(3億415万円増額)
- ② 庁舎外壁屋上防水改修工事
2億 120万円
- ③ ふるさと宇美町応援寄附金事業費
1億2,903万円
- ④ 町制施行100周年記念事業費
8,018万円

主な事業

新規 宇美町町民憲章制定支援業務委託

町民憲章を制定するため、町民アンケート調査等を実施し、町民憲章制定委員会の運営などに関する支援業務を委託する。

新規 母子アプリサービス利用料

スマートフォンの普及に伴い、妊娠・出産・子育てに関する情報を妊婦・乳幼児の保護者などに提供するため、母子アプリを導入する。

新規 ため池ハザードマップ作成業務委託料

農業農村整備事業補助金(補助率10/10)を活用し、自然災害によるため池の被害を予測し、その被害範囲を地図化して予測される災害の発生地点、被害の範囲、避難経路、避難場所などの情報を集約するハザードマップを作成する業務を委託。

※対象ため池:町内22か所

継続 町の発展のため道路環境の整備充実

「都市計画道路志免宇美線」の早期供用開始をめざし、当該道路をはじめ道路整備に取り組む。

継続 ふるさと宇美町応援寄附事業の拡充

ふるさと宇美町応援寄附金の理念や趣旨について広く周知を図り、さらなる増額をめざして啓発活動に取り組む。



宇美八幡宮 初誕生祭 (神楽殿においてお餅踏み、選び取り)

特別会計予算 (単位：万円未満四捨五入)

会計名		予算額	前年度比
後期高齢者医療特別会計		4億5,893万円	5.6%
国民健康保険特別会計		40億6,146万円	▲0.3%
上水道事業会計	収益的支出	7億2,937万円	0.3%
	資本的支出	3億4,415万円	▲15.2%
流域関連公共下水道事業会計	収益的支出	8億7,495万円	▲1.3%
	資本的支出	8億5,934万円	▲4.5%



～主な予算の使い道～



(単位：万円未満四捨五入)



庁舎外壁屋上防水改修工事 【2億120万円】

庁舎本館は築45年経過、南館は築44年経過、別館及び多目的ホールは築36年経過している。また、エレベーター棟は平成13年に増築。庁舎の各館は外壁の剥離劣化や屋上防水の劣化が進行しているため、外壁・屋上防水の改修工事を行い、令和2年9月末の完成をめざす。



ふるさと宇美町応援寄附事業 【1億2,903万円】

2億円の寄附金に対する代行手数料、返礼品費用、配達料、広告料などに係る経費を計上。寄附金のさらなる増額をめざす。

寄附額2億円の内訳

・町長指定事業	700万円
・子育て・教育環境整備事業	6,000万円
・町制施行100周年・未来・賑わい創生事業	1億1,800万円
・健康増進・福祉の充実事業	750万円
・自然環境の利活用・都市基盤の整備事業	750万円



町制施行100周年記念事業 【8,018万円】

- ・町主催事業費(記念式典、各課推進事業) 1,989万円
- ・町民提案自主事業費(全25事業) 826万円
- ・企業や団体との連携事業費 199万円
- ・スペシャルウィーク事業費 4,020万円
- ・その他(広報・PR事業費や事務費など) 984万円



外国語指導助手業務委託 【1,361万円】

国際社会に対応した教育施策の一環として、生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の育成と国際感覚の育成を図る。

令和2年度から新学習指導要領が完全実施され、外国語活動の年間の授業時間数が増加するため、ALT(外国語指導助手)を2名から3名に増員し、指導体制を強化する。

(対象) 小学3～6年生、中学1～3年生

宇美町国民健康保険税条例審査特別委員会

条例審査特別委員会

委員長 飛賀 貴夫議員
委員 小林 征男議員

条例については、議長を除く議員全員による条例審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。
主な質疑内容を要約してお知らせします。

宇美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険特別会計の事業運営の健全化を図るために、国民健康保険税の税率を改定。
※改定率7.09%増。

問 一般会計の予算を繰り入れることで、税率を改定せず、現状を維持することはできないのか。

答 繰入れを行う場合は、町の財政負担が増えるとともに、県からのマイナス評価を受けることとなり、次年度以

降の保険税増につながりかねないため、繰入れは行うべきではないと考える。
(賛成10反対1で可決すべきものと決定)

宇美町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の適正な配置を行うため、新たな役職「主幹」を設置。

問 主幹の主な業務内容は、

答 主幹は係長を兼務するとともに、課内の係長を統括。今後は課長補佐の職を新たに増やさないので、管理職手当の削減と窓口業務等に従事する職員の増を見込んでいる。
(賛成10反対1で可決すべきものと決定)

宇美町改良住宅等条例の一部を改正する条例

昭和町町営住宅建替事業で新たに設置した昭和町町営住宅2棟の規定を追加し、廃止となる旧住宅の規定を削除。

問 昭和町町営住宅1棟・2棟の年間家賃収入は、

家賃と駐車場収入を合わせて約2,300万円。
(全員賛成で可決すべきものと決定)



議員発議

宇美町子ども・子育て支援条例

町制施行100周年を迎える宇美町の次の100年を担っていく子どもたちの健やかな成長を願い、「子育てするなら宇美で」を合い言葉に、安心して産み育てることができ、環境の整備や地域全体で子どもや子育て家庭を支え合う町を実現するための理念となる条例を制定。

提出者 飛賀 貴夫議員
賛成者 白水 英至議員
小林 征男議員
脇田 義政議員
黒川 悟議員
吉原 秀信議員
藤木 泰議員

賛成討論

白水英至議員
今回の条例制定においては、関係団体等に相談し、充分な意見を取り入れてあることから賛成とする。
(賛成11反対1で可決)

宇美町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例

町議会の会議等を長期間欠席した場合又は刑事事件による逮捕など町民の信頼に著しく反した場合における議員報酬及び期末手当の減額又は支給停止等の措置を講ずるため、議員報酬等の特例を定める条例を制定。

提出者 黒川 悟議員
賛成者 安川 繁典議員
(全員賛成で可決)

反対討論

入江政行議員
条例の趣旨には賛同するが、条例案が手元に届いて日がないことや議会による議論が不十分であるため反対とする。

**当初予算審査
特別委員会**
委員長 飛賀貴夫 議員

令和2年度予算を 徹底審査

当初予算審査については、議長を除く議員全員による当初予算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 非常勤職員等は新年度から委託による人材派遣と会計年度任用職員として制度移行された。会計年度任用職員として任用される人数は。

答 126人のほとんどが、会計年度任用職員に移行する。

問 庁舎維持管理費の警備業務委託は前年度から700万円増額しているが、その理由は。

答 この業務は、長期継続契約のため、平成31年度の

委託契約は、平成28年度に契約している。

4年前と比較して人件費などが増えているため増額となっている。

問 自治会公民館等整備費補助金2,799万4千円増額の理由は。

答 山の内自治会公民館の建替え約2,300万円、3自治会公民館のトイレ改修約300万円、その他自治会公民館敷地のフェンス改修2件による増額。

問 ふるさと宇美町応援寄附金事業の広告料200万円増、昨年の検証結果を踏まえての用途は。

答 楽天のメールマガジン、ヤフーのプレミアム広告、読売新聞、東京ウォーカーの紙面にも掲載を予定し、200万円を計上。

問 社会福祉協議会補助金不交付で運営は大丈夫か。

答 ここ数年、町からの業務委託、社会福祉協議会職員のキャリアアップができ、補助金なしで運営ができるようになった。

問 町立保育園運営経費の保育士派遣業務委託で保育士の確保は大丈夫か。

答 現在8名は確保できている。

問 待機児童の現状は。

答 令和2年3月8日現在の入園申込みが昨年と比較し72人増加、年齢階層で1歳児、3歳児が多く1歳児に待機児童が発生する見込み。

問 高齢者の運転免許返納者に対する対策は。

答 糟屋地区の中では宇美町だけが優遇措置制度を実施していない。

問 地域猫不妊去勢手術業務委託料129万6千円以外で宇美町動物愛護団体うみねこ活動補助金の支援はできないか。

答 町からの支援状況は、地域猫の捕獲、動物病院への搬入作業補助、譲渡会場の確保・準備片付けの補助、譲渡会資料の保管。

さらに宇美町共同事業提案制度活用による補助金申請のサポートをしたが、今回は見送られ、次回に応募予定。

問 有害鳥獣捕獲事業業務委託料、イノシシ捕獲箱わなの補助金をもらう考えは。

答 国の交付金を活用し箱わな約50基保有している。新型コロナウイルス対応に伴い学校一斉休校



になっていないが非常勤職員、臨時講師の任用状況は。

答 任用はそのまま継続し業務に従事してもらっている。小さな子どもを持たれている方は一部職免としている。

問 学校ICT推進事業の4月からの見通しは。

答 国のGIGAスクール構想により、各小中学校校内にLANケーブル環境整備を行う予定。

4月以降の計画については、これから指導主事を中心に具体的な計画を立てていく。(14ページ参照)

問 令和2年度の3大スポーツ大会を中止とした理由は。

答 自治会対抗スポーツ大会については、よりよい大会にするために、令和2年度は中止とした。

(賛成10 反対1で
可決すべきものと決定)

当初予算審査特別委員会

特別会計

後期高齢者医療会計

問 会計年度任用職員の報酬73万8,000円は月に何日間雇う予定で計上されているのか。昨年度は。

答 月に8〜9日間、年間で103日の予定で計上。昨年度は、月10日〜11日間。

問 会計年度任用職員の雇用日数削減により職員の負担が増えるのでは。

答 事務作業内容の見直しにより削減。職員の負担については、別会計で窓口用会計年度任用職員を雇用するため職員の負担は少し軽減される。(全員賛成で)

国民健康保険会計

問 他町の国保係員の人員と比較して、時間外勤務を含め、当町の職員配置体制をどう感じているのか。

答 業務量は非常に増えている。正規職員・嘱託・非常勤等チーム一丸となつて、各課連携しながら対応している。時代の変化や住民ニーズ等を踏まえながら、住民の負担に配慮されるような行政推進ができる体制を今後も充実していきたい。

問 出産育児一時金の支給対象者が40人は少ないのでは。

答 町全体の出生者数ではなく国保加入世帯で40人を見込んで計上している。

問 保険事業費の会計年度任用職員の報酬448万円は何人分で、月に何日雇うのか。

答 管理栄養士2名分、週4日。(賛成10反対1で)

国民健康保険特別会計 反対討論

入江行政議員

保険料の値上げではなく、弱者救済の観点から公費繰入れを行い、被保険者の負担軽減、現状維持を是非実行すべきである。

上水道事業会計

問 貴船5丁目地域の方々に宇美町の上水道を使ってもらえるのか。

答 自治会長の方から2月に自治会の臨時総会が行われ、宇美町の上水道への切替えについては総意であるとの報告を受けた。今後は、

自治会と協議を進めていく。

問 一本松公園第2駐車場内の岩盤地下水販売所の料金体系は。

答 約2か月間は無料とし、その後は20リットル100円で販売する。(全員賛成で)

可決すべきものと決定

下水道事業会計

問 一般会計繰入金が1億円ほど増加した理由は。

答 一般会計繰入金金は国が示すルール計算に基づき基準額を算出しているが一般会計の状況に応じて額を増減している。今回は満額計上できた。(全員賛成で)

可決すべきものと決定



一本松公園の水販売所完成



水販売所の地図



全会一致で可決した議案

令和2年2月臨時会 表決一覧

議案名
宇美町職員定数条例の一部改正・・・行政組織機構再編に伴い、町長、教育委員会及び公営企業の事務部局の職員の定数を改正
平成31年度一般会計補正予算(第6号)・・・歳入歳出6,500万円追加し、予算総額128億9,195万1,000円(ふるさと応援寄附金の増額に伴う補正)

審議した議案と各議員の賛否

令和2年3月定例会 表決一覧

○は賛成 ×は反対を表しています

議員名 議案名	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	藤木泰	入江政行	吉原秀信	黒川悟	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	白水英至	南里正秀	審議結果	討論
宇美町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成：南里議員、飛賀議員 反対：入江議員
宇美町職員の給与に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成：脇田議員
宇美町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和2年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和2年度 宇美町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成：飛賀議員、平野議員
宇美町子ども・子育て支援条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成：白水議員 反対：入江議員

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で可決した議案

議案名
財産の取得・・・国指定特別史跡・大野城跡跡地保存のため民有地購入 取得価格計2億4,294万4,300円 取得面積計128,687㎡
財産の無償譲渡・・・貴船保育園の民営化に伴い、相手方の社会福祉法人 子会に建物及び備品一式を無償譲渡
工事請負契約の議決内容の一部変更・・・平成30・31年度昭和町更新住宅2棟建設工事請負契約額6億3,605万7,360円を6億2,815万5,000円に変更
和解及び損害賠償の額の決定・・・損害賠償請求事件の和解
宇美町上水道給水条例の一部改正・・・指定給水装置工事事業者の更新制度創設に伴う申請手数料の改正
宇美町印鑑条例の一部改正・・・成年被後見人等であることをもって一律に印鑑登録が制限されることがないよう、個別に審査する仕組みへと改正
宇美町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正・・・消防団員任免の欠格条項に規定されている「成年被後見人又は被保佐人」の文言を削除
宇美町立こども療育センター条例の一部改正・・・こども療育センター使用料の算定に用いる規定を「児童福祉法の規定」に改正
宇美町改良住宅等条例の一部改正・・・新規住宅「昭和町町営住宅2棟」の設置に関する規定の追加及び旧住宅の廃止に伴う規定の削除
宇美町職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正・・・会計年度任用職員の服務の宣誓について、任命権者が別段の定めをすることができるよう改正
宇美町多職種連携地域ケア会議設置条例・・・地域における包括的かつ継続的なケアの推進に当たり、保健、医療、福祉及び介護の専門的な見地から助言を求めため設置
宇美町森林環境譲与税基金条例・・・国から譲与される森林環境譲与税を森林の整備及びその促進に要する経費の財源に充てるため、基金を設置
平成31年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)・・・歳入歳出633万6,000円追加し、予算総額4億4,237万3,000円
平成31年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)・・・歳入歳出2,522万9,000円減額し、予算総額39億7,225万1,000円
平成31年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第4号)・・・ 収益的収入1,736万1,000円追加し、計7億8,009万4,000円 収益的支出43万8,000円追加し、計6億8,456万円 資本的収入5,604万1,000円減額し、計3,991万7,000円 資本的支出5,550万円減額し、計3億5,038万3,000円
平成31年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3号)・・・ 収益的収入495万9,000円減額し、計8億9,509万円 収益的支出885万9,000円減額し、計8億7,830万9,000円 資本的収入8,397万円減額し、計5億7,599万8,000円 資本的支出9,815万7,000円減額し、計8億203万円
平成31年度 宇美町一般会計補正予算(第7号)・・・歳入歳出3億8,370万4,000円追加し、予算総額132億7,565万5,000円
平成31年度 宇美町一般会計補正予算(第8号)・・・歳入歳出2,331万円追加し、予算総額132億9,896万5,000円
令和2年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算・・・予算総額4億5,893万1,000円、前年度比2,415万5千円増額
令和2年度 宇美町上水道事業会計予算・・・年間配水量3,160,000㎥ 給水戸数14,107戸 一日平均配水量8,658㎥
令和2年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算・・・処理戸数12,330戸 年間総処理水量2,510,000㎥ 一日平均処理水量6,877㎥
宇美町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例(発議)・・・議員が町議会の会議を長期間欠席した場合又は刑事事件による逮捕など町民の信頼に著しく反した場合における議員報酬及び期末手当の減額又は支給停止等の措置を講じるため制定

特集 1

特集 2

3月定例会

委員会

各委員会活動

その他の活動

開催日:2月18日(火)

総務建設常任委員会

Topics

万一の災害に備えて

防災訓練実施しました

危機管理課報告

宇美小学校区コミュニティ防災訓練

1月26日(日)午前8時から宇美小学校区コミュニティ(13自治会)、消防団(本部・第3・5・6分団)で地震を想定した避難訓練が実施された。各避難所への避難経路と危険箇所を確認しながらの移動、人員点呼及び安全確認、対策本部への人員報告が行われた。



宇美町職員災害対応研修会

2月14日(金)災害時における町職員のあり方と防災意識の向上を図る目的で係長以上を対象に午前の部、午後の部2回の研修会を実施した。講師に一般財団法人地域安全協会代表理事山元一氏を招き机上訓練「災害が起こった時、職員としてどう対応すべきか。」で、災害発生時の問題点の検討、災害時の職員のあり方、避難所生活の問題点、避難所運営のシミュレーションを実施し、計53人の参加があった。



Topics

令和2年4月から宇美町広報誌等がポスティングにより全戸配布へ

総務課報告

4月から宇美町広報誌等を全世帯へ配布する業務委託について報告。

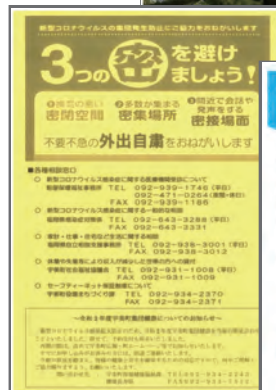
2年間の複数年契約を株式会社ポストイクルが落札。

「広報うみ」は4月から株式会社ポストイクルが全戸配布するが、従来広報と一緒に配布されていた回覧文書については、業者が自治会長が指定する場所へ配布し、各世帯に回覧される。

主な質疑・応答

問 全戸配布で空き家への対応や見守り業務はできないのか。

答 空き家への対応は、現在の状況を把握しているところである。まずは、全戸配布を実施し、見守り対応について異常がある場合は口頭により連絡を受ける。いずれも自治会と連携を取りながら対応していく。



全戸配布されたうみ広報ほかお知らせ

特集 1

特集 2

3月定例会

委員会

各委員会活動

その他の活動

開催日:2月19日(水)

厚生文教常任委員会



Topics

安全安心なまちをめざして

ため池ハザードマップが作られます

環境農林課報告

近年の局地的な大雨や大規模な地震などにより、ため池の被害が各地で発生している。

そこで、令和2年度事業として、ため池が決壊する恐れがある場合又は決壊した場合に迅速かつ安全に避難するための参考資料として「ため池ハザードマップ」(自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの)を作成する。町内22か所のため池が対象。

- | | | | |
|--------|--------|--------|------|
| ①地蔵ヶ谷池 | ②熊山池 | ③浦尻池 | ④長谷池 |
| ⑤赤子池 | ⑥花の木池 | ⑦金坪池 | ⑧持田池 |
| ⑨砂池 | ⑩小出ヶ浦池 | ⑪桐ヶ坂下池 | |
| ⑫イボリ池 | ⑬桐ヶ坂上池 | ⑭神武原池 | ⑮焼尾池 |
| ⑯打尾池 | ⑰中ノ原池 | ⑱天ヶ熊池 | ⑲只越池 |
| ⑳大久保池 | ㉑一本松池 | ㉒鎌ヶ谷池 | |



主な質疑・応答

問 ため池耐震診断が実施されているが、ため池ハザードマップとの関連は。

答 耐震診断は、地震時に崩壊の危険性があるかなどのハード面に付随するもので、地質調査やソフト解析により、堤体の安定状況を調査するもの。

一方、ハザードマップは、避難場所などの避難計画の指標となるもの。耐震診断とハザードマップは分けて進めている。

Topics

GIGAスクール構想の実現に向けて

小中学校 ICT環境整備事業

学校教育課報告

校内通信ネットワークの整備については、小・中学校8校の校内の通信ネットワーク(Wi-Fi)整備と各教室への電源キャビネットの整備を令和2年度までに完備する計画。

また、児童生徒1人1台端末の整備については、国が令和5年度までの整備を示していることから、今後、情報収集を行い適切な時期に整備を図る予定。

【GIGAスクール構想とは】全国の学校で、義務教育を受ける生徒児童に1人1台の学習者用PCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたもの。



iPodを使った書写の授業風景

Topics

待機児童ゼロをめざして

町内保育所の入園予定児童数・入園申込み状況

こどもみらい課報告

令和2年4月1日入所児童の見込み状況は、2月14日現在、町立保育園・私立保育園・認定こども園・地域型保育施設トータルで、0歳児51名、1歳児111名、2歳児139名、3歳児165名、4歳児157名、5歳児159名の合計782名。定員1,082名で入所率72.3%。

また、入園申込み状況は242名で、昨年度より66名(R2.2.14日現在)の増、昨年10月に実施された幼保無償化の影響により大幅に増加し、前年度より37.5%増となっている。

主な質疑・応答

問 昨年度の当初は待機児童ゼロが実現できていた。しかしながら、保育制度が変わり入園申込みが増えて、隠れ待機児童の問題も勘案すると、実際に今年度の当初は待機児童は発生するのか。

答 今年度の入園申込みは、昨年12月から本年1月にかけて一斉に保育施設全所を当課で行った。先着順位で家庭状況等を勘案し調整を行ったが、2月時点で調整ができなかった児童数が約60名発生。現在、約40名となっている。昨年度と比較すると入園者が増えて厳しい状況である。今後も調整を進めて保育士の確保に努め、待機児童ゼロに近づくよう努力をしていきたい。

町制施行100周年記念事業第2弾 蹴-1GP福岡大会2020



2月16日(日)に宇美町総合運動公園で開かれた宇美町町制施行100周年記念イベント第2弾の「蹴-1GP福岡大会2020」に、宇美町議会の有志で結成した「うみギーンズ」で出場しました。

当日は雨天の中、町内外から60チームが参加して、500名を超える出場者・応援の方が集まり大いに盛り上がりました。

今年は宇美町在住でデフサッカー日本代表GKの松本卓巳さんらによるサッカークリニックも行い、子どもたちも楽しそうに指導を受けていました。

今後予定されてる100周年記念イベントもしっかり盛り上げていきたいと思っています。

ごみ分別はとっても大事 クリーンパークわかすぎ リサイクルセンターエコルを視察

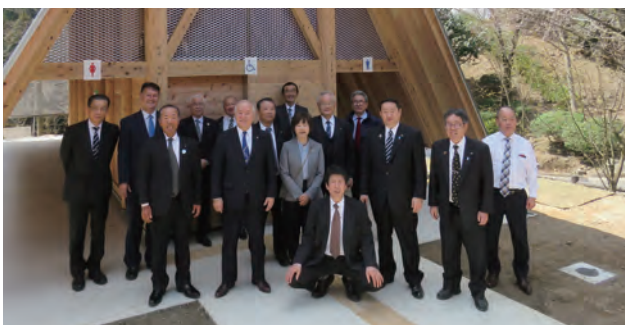


2月7日(金)に篠栗町のごみ処理施設クリーンパークわかすぎと、10日(月)に宇美町のリサイクルセンターエコルと宇美町最終処分場を議員有志で視察研修しました。

クリーンパークわかすぎでは、宇美町から可燃ごみを搬入し、RDFという固形燃料に加工して大牟田のリサイクル発電所に運んでいます。持ち込まれる可燃ごみの中には、ハンマーなどの金属が含まれていることもあり、破碎機が故障する原因にもなっています。

ごみ分別のルールを守ることは、経費削減にもつながります。町民の皆様のご協力をお願いします。

安心してアウトドアが楽しめる 一本松公園に水洗トイレが完成



3月19日(木)に議員有志で一本松公園に建設された水洗トイレの見学に行ってきました。

福岡県産の木材を使い、木の温もりが感じられるトイレです。

これからは安心してアウトドアを楽しめると女性からも好評をいただいています。

また、4月中旬に一本松池駐車場付近に、宇美町の美味しい水を飲んでいただこうと、深井戸からくみ上げた水の自動販売所が整備されました。

20リットル100円で販売されます。容器ご持参の上、ご堪能ください。(11ページ参照)



コンプライアンス研修を開催 議会改革調査特別委員会



2月14日(金)に議会改革特別委員会の取組で「自治体議員のコンプライアンス(法令遵守)研修会」を行いました。

今回の研修会では、第一法規出版(株)より講師を招き、法律や条例の位置づけをはじめ、住民との接し方や、情報発信を行う上で注意すべきポイントなどを学びました。

我々議員は、選挙により選ばれて公職に就いています。それは住民の模範としての行動が求められることであり、常に自らを律し、あるべき姿を模索していくことが大切であると学ぶことができました。





町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

**区長20年・民生委員18年
自治功労者 中村文子さん(88歳)**



平成27年11月3日に宇美町自治功労者表彰を受賞されました。



17歳で高等女学校を卒業後に、三菱鉱業所の厚生課に5年間お勤めになりました。現桜原小学校の敷地には三菱鉱業所の事務所や当時東洋一ともいわれた堅坑槽がありました。当時会社にはダンスホールもあり、町は活気に満ち溢れており、楽しい青春時代をお過ごしになりました。

中村さんが60歳で定年退職された時期に前浦田区長が勇退され、区長のなり手がなく役員さんから区長になって頼まれ、二つ返事で区長に就任されたそうです。

21年間の区長時代の思い出は、浦田区の公民館を新設できたこと。その時は木原町長が宇美町の社会教育課長に赴任されていた時期で、大変お世話になったそうです。また、林崎区や大名坂区と協力して、香椎線を跨ぐ黒橋に歩道橋を設置でき、子どもたちや高齢者の安全確保につながったと語られました。

民生委員・児童委員では、他の校区に先駆けて桜原小学校校区児童の交通安全見守り活動に取り組まれました。また、高齢者の見守り活動も積極的にされてこられました。これらも自分一人の力ではなく、地域の仲間を支えてもらったから続けてこられたそうです。

たくさんのお話の中でも、昭和23年6月18日に勝田鉱業所で粉塵爆発事故が発生し62人の死者が出た時は、大変ショックだったそうです。

試練を乗り越えて宇美町は大きく発展し、今、新たな100年を踏み出そうとしています。さらに人情味あふれた人と人が支え合う町になってほしいと語られました。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

3月議会では、4名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。役場本館3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、6月8日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。 gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

委員 飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter 議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

